

# 地域社会における高齢者の活力貢献についての研究

事業代表者 地域デザイン科学部・教授・中村祐司

## 1. 事業の目的・意義

元気かつポジティブな高齢者による地域社会への「活力貢献」の事例に注目し、活動する高齢者自身の生きがいややりがいといった範疇を超えて、子どもや若者世代との交流、地域課題解決にむけた行政への提案、まちづくり実践を通じた地域活性化への貢献活動の事例を紹介することが目的である。

## 2. 研究方法（又は事業内容）

焦点を事業代表者が関わる活動と文献・情報収集調査に置き、高齢者の活力を引き出す行政や公的関連領域の施策に焦点を当てることとした。

具体的には栃木県内の宇都宮市、下野市、日光市、市貝町において、総合計画や高齢者を対象とする各種施策において、地域社会において高齢者の活力を示す事例を抽出した。

## 3. 事業の進捗状況

### (1) 宇都宮市シルバー人材センターの活力貢献

シルバー人材センターの目的は、「高齢者に対して（省略）その能力を生かした活力ある地域社会づくりへ寄与すること」（公益社団法人宇都宮市シルバー人材センターHP）である。

とくに注目されるのは「独自事業」として、「編みぐるみ」「石けん」「まめぞうり」「門松作成」を行っている点である。このうち、掲載の編みぐるみは独自ブランド化しつつあり、同じものはないという。「みんな兄弟や姉妹」であることが商品展開を支えている。

### (2) 下野市における手作りの情報紙

下野市では 2014 年 4 月から自治基本条例が施行されているが、条例を作りっぱなしで終わるのではなく、条例の策定に関わった高齢者を含む有志メンバーが、行政の支援（印刷代）を得ながら、手作りで情報紙を作成している。



図 1. 宇都宮市シルバー人材センターの独自事業  
資料：公益社団法人宇都宮市シルバー人材センターHP  
<http://www.sjc.ne.jp/utsunomiya/dokuzi.html>



図 2. 下野市自治基本条例情報紙

第 3 号では下野市内のグリーンタウンコミュニティ推進協議会、東方台地コミュニティ推進協議会、「シモティ～次世代につなげるコミュニティ～」が編集委員の現地取材にもとづき作成された。シモティの取材では、「家族を含め皆で創った喜びと思い出が地元愛につながって、大人になってもこの地に住み、次世代へつなぐ人になって欲しいというメンバーの思いが詰まっています」（5 頁）とある。

### (3) 日光市における協働のまちづくり

策定委員会メンバーのうち一定の割合を占める高齢者メンバーからも協働をめぐる柔軟で新しい発想が示された。それは「さまざまな地域・地区、目的などにより校正される担い手が、互いに認め合いながら、適切な役割分担のもとで課題解決に努め、行政は必要な支援を行います」という基本的視点に現れている。



図 3. 日光市協働のまちづくり推進行動計画

### (4) 市貝町に見る高齢者活力支援

市貝町では「町長コラム」の中で、「市貝町は、十月から集会所で元気体操を町内四か所でモデル的に実施し、来年の四月に全域に広げます。高齢者の身体の衰弱を防止するとともに、栄養学の面から体の内側から健康にしていきます。本町の高齢者は日本一健やかで幸せになることでしょう」（2016年11月）と記している。

このように首長（行政）が高齢者の社会活動を積極的に支援するスタンスを打ち出すことは社会活力にもつながる。

## 4. 事業の成果

以上のように本研究では、高齢者による地域社会への活力貢献につながる素地・素材を3市1町

から抽出した。そこから見えてきたことは、いずれにおいてもまずは元気な高齢者が社会に一步踏み出すことで、活力展開の歯車が回り出すということである。そのための行政が打ち出す支援はあくまでも側面支援であって、まずは高齢者による「動き」が必要なのである。

この動きは、肉体的にも精神的にもという意味である。情報を得てそれを理解・解釈し、行動につなげていく、すなわち「知的動き」も「肉体的動き」と同様に大切である。

こうした高齢者による活力貢献を可能とするような社会的環境が、まさに自助・共助・公助をつなぐような形で構築されなければならない。

## 5. 今後の展望

取り上げた素材はいずれも事業代表者が、何らかの形で直接・間接に関わっているものである。しかし、インタビュー調査ではなかったため、そこからは新しい知見というよりは活力貢献をめぐる社会的価値の確認のレベルにとどまってしまったことが課題である。本研究テーマのキーワードである「地域社会」「高齢者」「活力貢献」を追求する上で貴重な示唆を得られる書籍を選定し、各書籍と本テーマとの関連性、各書籍が示唆する内容がいずれも本研究のバックグラウンドを形成し、連関している（表1）。いずれの書籍も本テーマが有する地域コミュニティ、地域社会の多様性と広がりを考える上で示唆に富む内容を含む。

今後は、聞き取りはもちろん、対象となる高齢者による実際の活力貢献の活動現場に踏み込んで、一つ一つの社会的活動価値のパーツを積み上げていきたい。そのことにより初めて、「個々の活動が『定点』で終わらずに活動分野を超えて当該地区・地域に『面的に広がりつつある』社会における支え合いの状況」（中村）が把握されるはずである。

表1 「地域社会」「高齢者」「活力貢献」と関連文献

書籍（書名）一覧	各書籍と本テーマとの関連性、各書籍の示唆内容	ウェブでメンを食うということ	地域活力の貢献にネット活用が果たす役割と課題
土の記 上下	農夫、自然、棚田、高齢者と地域社会との融合	万引き老人	貧困と孤独が「下流老人」を生む社会的背景
新聞大学	地域情報を得る上での紙媒体新聞の有効活用方法	父よ、ロング・グッドバイ	男性による父親介護経験と家族間協力、行政支援
地域通貨で実現する地方創生	地域通貨導入に自治体の成功事例を紹介	ソニー盛田昭夫	トップ企業家から学ぶ地域経営、地域貢献の手法
中国山地過疎 50年	過疎からの脱却のプロセスと高齢者ネットワークの力	魂の退社	退社に伴う社会的評価の変容と自らのスキルを発揮する方法
栃木の一流 2017	地方生活の質の向上につながる建築・商店等の紹介	奔走老人	学校建設に「奔走」する高齢者の活力と挑戦の継続
結局、「1%に集中できる人」がすべてを変えられる	仕事量、事業をめぐる選択集中、取捨選択の技法	そのとき、あなたは実家を片づけられますか	快適生活に不可欠な実家整理の当事者（高齢者）との調整
驚きの地方創生「京都・あやベストスタイル」	半農半 X の課題と成功の実践例、地域への貢献事例	60歳で家を作る	高齢世代対応の住宅建設の課題と地域社会への円滑的溶け込み
地方創生まちづくり大事典	193 事例から地方活力実現へのヒントを提示	脱・貧困老後	貧困老後がもたらす生活危機と救済としての地域住民との交流
無限の本棚	古本から得られる多面的な情報取得とその効果	見下すことからはじめよう	10 年単位の時代の特徴と変容の把握が地域社会のそれに援用可
僕が 18 年勤めた会社を辞めた時、後悔した 12 のこと	「後悔」12 事例から地域活力事業継続の価値（堅実性）	脳梗塞日誌	プロの書き手の病魔克服のプロセスが地域の難題克服と連動
アフロ記者が記者として書いてきたこと。退職したからこそ書けたこと。	コラム執筆を通じた読者とのつながり（心的コミュニティ形成）	隠れ貧困	一定所得があっても老後における実質収入の目減り等への対応
身内が亡くなったときの手続き	生の終末期における備えの工夫と空き屋相続対策など	「私」を受け容れて生きる	人生の難題（夫の死、難病、障害、介護など）に立ち向かう力
年収 90 万円で東京ハッピーライフ	低コストで衣食住を成立させる技法と思考	男が働かない、いいじゃないか！	若者男性世代へのエールは高齢者世代への援用が可能
五感経営	産業廃棄物処理業の立地地域社会受け入れの知恵	非常識な建築業界	建設業界の機能不全に対する警鐘と地方のそれとの連動性
みかづき	教育塾の運営を通じた地域への根付きと互助・共助	武満徹・音楽創造への旅	音楽分野に限らず様々な地域活力貢献分野の原動力を示唆
週末介護	介護と仕事との両立実践を通じて高齢者との心のつながり	橋を渡る	3 人の濃密な人的関係が地域を変えるコアな推進力を示唆
妻籠め	神社訪問の旅程における若者世代と高齢世代との交流	左遷論	あらゆる組織に付随する人事の要諦、とくに難局への対応
シニアの品格	シニア世代間のコミュニケーションの地域社会存続との連関	雇用なしで生きる	自由生活、共助、人的つながりを通じた雇用なし状況の克服
プライベートバンカー	新富裕層の租税回避と地域社会活力貢献との対比性	向田理髪店	過疎の町からの脱却プロセスに見られる町民間の協働実践
猿の見る夢	定年退職時に直面する家族、金銭、家といった課題への対応	光の庭	地方在住の若者世代に伝える高齢者世代の価値観と理解の共有
		65 歳で人生を変える	人生 90 年時代を見据えた元気な高齢者なポジティブな社会参加
		僕が四十二歳で脱サラして、妻と始めた小さな起業の物語	壮年世代の起業成功事例から学ぶ高齢世代による地域資源発掘

村に火をつけ、白痴になれ	為政者の左右されない自由精神の貫徹による現代の閉塞感打破
ビューティーキャンプ	競合空間における事業・意思継続の難しさと社会的難題の克服
誰も教えてくれないマイホーム建築の罨	地方における古民家改築やリフォーム手法にも援用可能
ニューカルマ	終身雇用制度の揺らぎとリストラ対応のネットワークビジネス
海は見えるか	震災復興の被災地社会の再構築から得られる人的協力のヒント
乳房に蚊	婚姻生活に直面する課題とその克服に向けた高齢者夫婦の知恵
モノは最低限、幸せは最大限	ミニマリスト 20 人の生活実践から得られる地域生活への示唆
都市をたたむ	人口減少社会への都市対応のポイントとポジティブな未来
バラカ	震災原発事故による社会の揺らぎと高齢者ボランティアの活力
日付の大きいカレンダー	病魔に抗する生きる力と家族支援が地域コミュニティにも貢献
小倉昌男祈りと経営	傑物の宅急便経営者が地域社会への公益的価値の還元
アシタノユキカタ	日本縦断 7 日間の旅程から見える訪問地域固有の魅力と特性
蟲息山房から	作家の小説・エッセイ・俳句等から見える自然資源との交錯
ママがやった	高齢者による犯罪行為の背景にある貧困や社会的疎遠
ひとり歩きはレモン味	社会につながるチャレンジが生み出す学び生活の充実
ブラック葬儀屋	高齢社会における葬儀事情の変容と現代的葬式の模索と実現
ブラックバイト	親世代の把握力をサポートする高齢者世代の知恵の不可欠性

都市に刻む軌跡	都市空間における若者集団の文化的行為と地域の担い手との親和性
「鬼畜」の家	家族内犯罪などの背景と近隣コミュニティによる防止役割
文化と政治を結んで	思想など大局的見地からの文化政治論から地域間協働の知恵を示唆
ルポ貧困女子	自己責任論克服に向けた高齢者コミュニティの知恵提示の可能性
貧困の現場から社会を変える	課題山積の過疎地域への活力導入に高齢者が果たす役割を示唆
漂うままに島に着き	高齢社会における生活拠点や生き方のパラダイム転換
やり抜く力	課外活動の強調から得られるチャレンジ継続の重要性
超速パソコン仕事術	地域コミュニティ組織運営の効率を上げるためのパソコン技術
これからどこへ向かうのか	思想的立ち位置のいかに関わらず地域の共同体維持の秘訣を示唆
分かれ道ノストラダムス	高校生世代の豊かな感性が地域社会へ活力を注入する可能性
X-01	景気や経済など時代変容に立ち向かう地域コミュニティの力を示唆
籠の鸚鵡	バブル時代の地域を舞台に平凡・真面目と欲得との拮抗がヒントに
狂うひと	不朽の名作の背景にある夫婦間の葛藤がネガティブに向かう厳しさ
漂う子	居所不明児童をめぐる家族と社会のあり方を解決への道筋を示唆
世界一ありふれた答え	個の力の弱さと二人のきずながもたらす力とそれを支える地域社会
子どもと貧困	子ども世代の貧困を高齢者世代が救済する方途の可能性
現代貧乏物語	貧困問題への社会政策対応のあるべき姿と活力再生への道筋
老いる家崩れる街	空き家予備軍の住宅をどう地域で維持管理するかへのヒント